

## 編集後記

『戦史研究年報』第21号をお届けします。

本号が発刊される平成30年は明治150年に当たることにちなみ、巻頭の「史料紹介」では、明治期の陸軍への電灯導入と海軍の観艦式に関する史料を掲載しています。

「論文」は、戦史研究センター所属研究者による平成28年度調査研究成果の中から2本、投稿論文2本を掲載しました。花田論文は、ソ連の対日参戦について、ソ連側の外交的・軍事的背景に注目し、ロシア国内の史料を使用して分析したものです。立川論文は、北部仏印に駐留した日本軍の地上部隊の状況、駐留中の諸問題とその対応策について検討したものです。小野論文は、軍産関係をそれぞれの時代の軍や社会環境等の変化との関連において分析したものです。金澤・伊藤論文は、現存する旧軍庁舎について、建築史の観点から実証的に検討したものです。

「研究会記録」は、米国国立第二次世界大戦博物館評議会委員長リチャード・B・フランク博士が発表された研究会の記録を掲載しました。米国指導者の対日戦争指導、特に戦争終結のために核兵器を選択するに至った過程を検討したものです。

「国際会議参加報告」は、カメルーン共和国・ドゥアラ市で開催された第43回国際軍事史学会大会の概要と同大会で平野所員が発表した論文(英文)を掲載しました。内容は、日露戦争の進展が韓国保護国化に及ぼした影響を検討したものです。

「活動報告」は、平成29年に戦史研究センターが実施した諸活動、史料閲覧室での閲覧状況などを掲載しました。

最後になりましたが、本号発刊のためにご協力いただきました関係各位に厚く御礼を申し上げます。

(山口 真司)

年報に示された見解は執筆者個人のものであり、防衛研究所または防衛省の見解を代表するものではありません。なお、論文の一部を引用する場合には、必ず出典を明示して下さい。また、長文にわたる場合には、事前に当研究所へご連絡下さい。

### 編集委員

庄 司 潤一郎（委員長）

石 津 朋 之

立 川 京 一

中 島 信 吾

菅 野 直 樹

小 山 高 司

谷 拓 弥

### 編集担当者

山 口 真 司

西 田 裕 史

## 戦 史 研 究 年 報 第 21 号

発行日 平成 30 年 3 月 31 日

編 集 防衛省防衛研究所戦史研究センター

発 行 防衛省防衛研究所

〒162-8808 東京都新宿区市谷本村町 5-1

電話 03-3268-3111（代表）

ISSN 1345-5117